

令和3年度 第1回さいたま市立教育研究所運営委員会会議録

1 開催日時 令和3年8月19日(木) 9時45分～11時00分

2 会場 さいたま市立教育研究所 5階 研修ホール

3 出席者名

<運営委員会委員>

※敬称略

薄井 俊二 (委員長)	青木 孝夫
塩谷 潤	佐野 公子
安藤 幸子	高後 仁
長谷場 明博	山浦 麻紀
伊澤 幸恵	安藤 真理子
山口 祐貴子	小倉 愛咲子
吉田 睦代	

<事務局職員>

所 長	深津 健太郎
所長補佐	紺野 雅弘
調査研究係長	沼 良
研修係長	清原 一樹
ICT教育推進係長	太田 康雄

欠席者名

<運営委員会委員>

※敬称略

吉田 賀一	吉野 浩一
-------	-------

4 会議の公開 公開

5 傍聴人 0人

6 内 容 (1) 令和3年度教育研究所の組織・運営方針及び事業概要について
(2) 令和3年度各係の事業計画等について
(3) 諸連絡

7 問い合わせ先 教育委員会事務局学校教育部教育研究所
電話 048(838)0781

委員長	協議の視点に沿って進める。始めに、「さいたま市 GIGA スクール構想の充実に向けた研修の充実」に向けて、御意見をどうぞ。
委員	<p>昨年度から 1 人 1 台端末となり、良い点として子どもたちが興味をもち、主体的に教育活動に取り組むことができている。また、視覚的・聴覚的ツールとして効果的である。少し空いた時間にドリルパークに取り組むことで基礎学力の向上も期待できる。</p> <p>課題として、教職員間でスキルの差が見られる。また、授業でツールとして使えていない面がある。気を付けなければならないこととして、タブレットは便利で調べればすぐに答えが出る。思考力、創造力を育てるために対面授業とデジタルの授業の融合を図っていく必要がある。</p>
委員	<p>エバンジェリストに教育委員会から具体的な指示が出て、研修の時間だけではなく夕方の職員集会の時間も活用して周知している。また、夏季休業中に、研究所の HP から L-Gate に入り、教材研究ができている。環境を整えていただいてありがたい。</p> <p>課題として、タブレット端末を破損した時に、子どもの手元に戻るまでに時間がかかる。これまでは、教師用タブレットを児童に貸していたが、校務用と学習用がハイブリッド化された際、教師用を児童用に貸すのは難しい状況になる。</p>
委員長 事務局	<p>タブレットの破損に関して、タブレット端末に予備はあるのか？</p> <p>予備は基本的にない。転出者がいた場合それが予備機となる。児童生徒が増え続けているので、何とかしていかななくてはならないと検討している。</p>
事務局	<p>補足しますと、学校が臨時休業している段階の時に、キーボードの無いタブレットを借りることができた。今、先生方の端末がないので、中学校に貸し出している。校務用端末が揃うとそのタブレットが不要となるので、キーボードはないがそれを使用するというのが予備の案としてはある。</p>
委員	<p>学校によって取組に差がある。朝から放課後まで使っている学校と授業のみ使用の学校がある。持ち帰りは、保険の関係でしていない。先生方の中にも能力差がある。だが、指導訪問に向けて ICT の活用に取り組んでいた。エバンジェリストは、生徒のタイピングスキルに課題を感じ、帰りの会に 5 分間のタイピングの時間を設定するようにしている。ただ課題として、生徒指導上の問題として、本校だけではなく全国的に、破損、アカウントの悪用、不正アプリの使用、不適切な動画視聴などがあり、同時に情報モラルの育成が求められる。先生方の校務用 PC を PC に長けた生徒が成績とか覗き見ないかセキュリティーの面で心配である。</p>
委員長 事務局	<p>児童生徒の方が小さな時から PC に触れている。児童生徒の方が先にいっているという認識をもつ必要がある。</p> <p>利便性とセキュリティーのバランスを図っていかなければならない。今までは、成績情報を職員室のみで扱っていたが、教室でも扱えるようになると、先生方でどんな事故が起きそうかイメージしながらカバーしていくことが大切。</p>
委員	<p>小・中・高等部とエバンジェリストを偏りなく配置している。校内研修で GIGA スクール構想の実現に向けて、ICT を利活用した授業づくりに取り組んでいる。また、校内授業研究会において、動画を撮って視聴して協議するなど工夫して行っている。あと</p>

委員	<p>は、ICTの活用の推進がよいきっかけとなっている。障害の重い子ども達にとって、ICTを活用した授業は有効である。課題としては、ネットワークの整備が挙げられる。</p> <p>大きい学校なので、エバンジェリストを中心に情報教育部を管理と活用に分けて進めている。エバンジェリストを中心に、自走できる研究組織に向け進んでいる。ただし、ICTを使うことがゴールではなく、教科の目標を達成することが本来の姿なので、先生方がより深く理解することが必要である。何がベストミックスなのか今後探っていく。</p> <p>研究会としては、21の専門部会が研究の成果等を共有できるようにシステムの構築をお願いしたい。</p>
<p>委員長</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員長</p>	<p>続いて「キャリア navi」を踏まえた研修の充実について、御意見をいただきたい。</p> <p>「キャリア navi」は、それぞれのキャリアに応じた指針となっている。教職員の方にもこれをナビとして実践していくように伝え、人事評価面談でも活用している。</p> <p>特に初任者研修、研修体制が充実して、非常に伸びている。一方で、臨時的任用教員の研修、特に大学を卒業したばかりの職員をケアしていくことが大事。研究所でも研修を実施しているが、校内でも行う必要がある。最後に、ベテラン教員の中にもいろいろいる。それぞれに役割や責任を与え、ミドルリーダーとして育てていくことが必要。</p> <p>人事評価面談の際、参考にして活用している。特にⅢ段階の人へⅡとの違いを示し確認をしてOJTを進めるよう促している。</p> <p>年次研修は、グループで学び同僚性も実感しながら、仲間にふれ仲間を見ながら、自分の課題に気付き取り組んでいる。</p> <p>ICTは使うことが目的とならないようすることが大事。共催の生活科・総合的な学習の時間研修会では、授業の中でどのようにICTを活用できるか具体的な方法について研修を行うことができた。また、参加者は実践への意欲を高めていた。</p> <p>人事評価シートの説明の際、活用している。指標が示されているのがよい。今年度から授業力の中にICTの項目が追加されたこともよい。どのように使うか工夫するスキルを持ち合わせることは大切なこと。</p> <p>「キャリア navi」は、求められる姿が言葉になっていることが何よりありがたい。様々な場面で活用している。それを生かした研修の中で、特にメンター・メンティ研修の評判がよい。初任者が中堅者に聞ける場があってよかった。段階に応じた研修を行うことは非常に価値があるので、引き続き実施していただきたい。</p> <p>情報提供。大学の教職課程のカリキュラムの中で、教育方法の授業から、来年度情報機器を取り出し、教職課程でICTを使った授業についても学ぶようになる。</p>
<p>委員長</p> <p>委員</p>	<p>それでは、調査結果を活用した授業改善につきまして、各学校での取組等ありましたら、お願いしたいと思います。調査研究としましては、ポートフォリオとかカウンセリング訪問があるわけですが、取組の様子があればお願いします。</p> <p>年度当初にポートフォリオを作成することで、自校の様子を見つめ直し、実態や課題を共有し、実践につなげている。また、日報の裏面を活用して、本校の分析結果を示し、課題のある単元の実施時期に吹き出しでポイントや改善案を示し、授業改善に取り組んでいる。</p>

委員	<p>調査結果の利用として、教科部会で話し合っ結果を分析し、全体で共有している。カウンセリング訪問は未実施。どんなことが分かるか興味深い。</p> <p>一点質問ですが、全国の学力学習状況調査で、さいたま市で CBT を実施したところはあるのか。</p>
事務局	<p>実施したところはない。試行で、全国で数校が行った。</p>
委員	<p>市の学力調査を2年間できていないので、学力がついているか実態把握のためにも来年度学力調査もできるとよい。</p>
事務局	<p>新型コロナウイルスの関係で、昨年度、今年度は生活習慣のみ行った。来年度は、学力調査もできるように進めているところです。</p>
委員	<p>学力向上カウンセリング学校訪問を実施し、効果が上がっている。学校現場としては、データ分析が弱いところ。総合的な分析の基、的確な助言をいただきありがたい。各校では分析力を高めていくことが課題。総合的に見て、課題を見付け方策を立てられる力を養っていかなければならないと考えている。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。全体を通して、最後に言っておきたいことはありますか。</p>
委員	<p>他市では進路説明会等を YouTube で行ったという話を聞いた。本市でもできるのか。その際は、研究所に相談しないといけないのか。</p>
事務局	<p>進路説明会というのは、保護者をご家庭にいて見られるということか。</p>
委員	<p>そういうのを、さいたま市はできるのか。</p>
事務局	<p>方法等についてアカウントの問題もありますので、そこは実際にできるかできないか検討が必要。子ども達とであれば、アカウントの問題もなくできるが、保護者へとなると、どういった形でできるか検討が必要。</p>
委員	<p>今のところできないということか。</p>
事務局	<p>マイクロソフトアカウントに関しては、子どものものなので保護者は使用できない。</p>
委員	<p>他県においては、タブレットを持ち帰り、宿題を提出フォルダに提出するという話も聞くが、さいたま市の持ち帰りについて見通しは。</p>
事務局	<p>持ち帰りにつきましては、5月末に通知を出させていただいた通り。現在、学校内での活用を推進してもらっている。整理しなくてはいけないことは、破損した時の対応です。こちらはまだ明確に伝えることのできる段階ではないが、破損した場合は、家庭に負担させるのではなく、研究所に連絡いただいてこちらの方で対応できるように、今準備を進めている段階である。それができるようになれば、持ち帰りも可能になるきっかけになると考えられる。ただ、理由があって学校に来られないお子さんがいるなど、個別の事案については一部持ち帰りを行っている。</p>
委員長	<p>よろしいでしょうか。ありがとうございました。本日の協議内容を今後の運営に生かしていただきたい。</p>